

「青少年と『ネットルール』を考えるフォーラム in 長崎」を開催しました

九州総合通信局は、安心ネットづくり促進協議会との共催により7月30日（木）、「青少年と『ネットルール』を考えるフォーラム in 長崎」を開催しました。

本フォーラムは、青少年のインターネット利用の実態について理解を深めるとともに、適切な使い方を青少年と一緒に考えることによって、家庭、学校、地域での話し合いや利用のルール作りなどが一層進展することを目的に開催しているもので、昨年の熊本に続き2回目となります。今回は223名の参加がありました。

第一部【基調講演】

「スマホと SNS 時代で子ども達に必要なネット対応力の育成は？」と題して、スマートフォン時代を迎えての新たな課題や青少年の利用実態等について、内閣府「青少年インターネット利用環境整備・普及啓発検討会議」委員長／安心ネットづくり促進協議会 特別会員／兵庫県立大学客員研究員の 桑崎剛 氏にご講演いただきました。



第二部【生徒たちとのトークセッション】



桑崎氏のコーディネートで、大人パネリストと生徒パネリストが、本音で意見交換を行いました。はじめに長崎市立山里中学校の本田副校長から、桜馬場中学校及び山里中学校の生徒を対象とした「ネット利用に関する生徒アンケート」の集計・分析結果についての説明後、長崎市の取組として長崎市 PTA 連合会の東川会長から「緊急メッセージ」について、長崎市教育委員会の一瀬主査から市教委の取組について、それぞれ報告がありました。

生徒パネリストからは、SNS の利点と不便さ、SNS 上での実際のトラブルやスマホ依存の具体的な事例を出し合った上で、その対策はどうすればよいか、生徒それぞれが自身の意見を述べ合いました。また、山里中学校からは、メディアコントロールチャレンジのアンケート結果について発表があり、ネットですれ違った言葉の1位は、「ありがとう」だったと笑顔で報告がありました。



最後はコーディネーターの桑崎氏より、「情報モラル教育には正解は無く、ネット社会はどうあるべきか、どう対応すべきか正解を創造していく姿勢が必要です。」というまとめがあり閉会しました。

九州総合通信局では、今後も啓発活動の一環として九州各地でフォーラム等を開催して参ります。

お問い合わせ先：電気通信事業課(096-326-7821)